

区長 山口照美の



今月号は、保存版の防災特集です。1・2階にお住いの方は、お近くの津波避難ビルをご確認ください。今回、区長からのメッセージとして「行政は万能ではありません。みなさんの大切な命を、行政に委ねないでください。」という強い言葉を使いました。これは、行政の責任を放棄するために書いたものではありません。平成30年の西日本豪雨で、行政からの指示が届かず、またタイミングが悪く、避難せずに亡くなった人が多数いました。繰り返さないために開かれた検証会議で、内閣府から出された報告資料の言葉です。自ら事前に情報を知り、備え、早めに避難してほしい……。港区役所は、関係機関や地域防災と連携しながらさらなる防災の強化に努めますが、一人ひとりが命を守れる港区であってほしいと願います。

さて、その上で、港区には多くの外国人観光客が訪れます。また別の機会に詳しくご紹介しますが、日本語がわからない外国人観光客の避難誘導をサポートする「おもてなし防災プロジェクト～“守る”というおもてなし～」を先日公表し、新聞やテレビで取り上げられました。(一社) FUKKODESIGN と (株) TBWA HAKUHODO と連携協定を結び、大阪・関西万博で注目を集めるベイエリアの港区を起点

に、このプロジェクトを日本中に広げていきたいと考えています。まず、自分や家族の命を守る。余力があれば、周りにいる外国人にも声をかけられる「おもてなし防災」を広めることで、まち全体の防災力が向上すると信じています。ともに備えましょう！



「おもてなし防災プロジェクト」の発表会に、ミyakミyakも来てくれました！ “守る” というおもてなしを日本中に広めます。